

第17回

かわさき 読書の日のつどい

申込不要・入場無料

～11月の第1日曜日は「かわさき読書の日」～



読書のまちかわさき

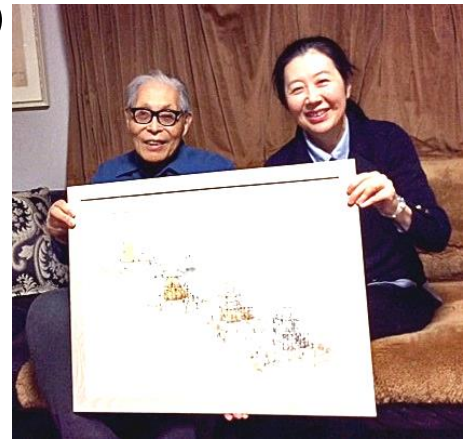
令和元年11月3日(日)
13:30～16:00 (受付 13:00～)

中原市民館 (最寄り駅:武蔵小杉駅)

*親子での参加、大歓迎です。*定員になり次第、入場を締め切らせて頂きます。

講演会・交流会 (14:20～16:00)

「だるまちゃんとてんぐちゃん」「からすのパンやさん」「どろぼうがっこう」などの作品でおなじみのかこさとしさん。川崎でどんな活動をしていたか、長女の鈴木万里さんがお話しします。



絵本作家 かこさとし氏 長女

鈴木 万里 さん

演題 『かこさとし 創作の原点

～川崎セツルメント時代～』

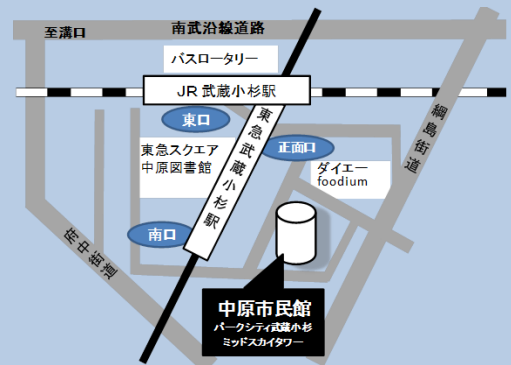
◆おもなプログラム◆

- * 入賞作品展示 (標語・ポスター・本の紹介文)
- * 読書活動表彰式 (予定時間 13:30～14:10)
 - ・ 読書活動作品優秀者表彰
 - ・ 読書活動優秀表彰式 (個人・団体・学校)
- * 講演会・交流会 (予定時間 14:20～16:00)

◆鈴木 万里 さん プロフィール◆

絵本作家かこさとし氏の長女として川崎市に生まれる。母校(中・高)の英語教師として11年間教鞭をとった後、加古総合研究所で父かこさとし氏の創作活動を支える。現在は父の遺志を継ぎ、講演や展覧会、メディア取材等を通して、かこさとし作品に込められた背景や思いを伝えるため、精力的に全国を回り活動している。

かこさとし氏は、東京大学工学部応用化学科卒業後、昭和電工で研究職に携わった後、幸区古市場でセツルメント運動に参加。数々の紙芝居や幻灯作品の制作、上演などを通して、川崎の子どもたちの成長を支える。1959年に『だむのおじさんたち』(福音館書店)で絵本作家としての活動をスタートさせ、昨年92歳で永眠するまで600点以上の作品を残し、子どもたちに「自分で考える人に育ってほしい」という思いを伝え続けた。2008年菊地寛賞受賞。2009年には日本化学会特別功労賞、神奈川文化賞(文学)、川崎市文化賞を受賞。著書に『からすのパンやさん』シリーズ(偕成社)、『だるまちゃんとてんぐちゃん』シリーズ、『かわ』『宇宙』(福音館書店)、『未来のだるまちゃんへ』(文藝春秋)などがある。



【問い合わせ】 川崎市教育委員会 指導課 044-200-1140
生涯学習推進課 044-200-3303